

2月全校集会・校長先生の話

2022/02/01 校長

今日から二月です。この学年、この学級で生活するのも、三年生のみなさんはあと一か月、一、二年のみなさんはあと二か月となりました。

1月に入ると、新型コロナウイルスの感染拡大が続き、これまでにない感染者数になっています。三年生のみなさんにとっては、高校進学のための試験を間近に控え、心配なことだと思います。加納中学校にとっても、学校行事や生徒会活動の変更を余儀なくされ、影響は小さくありません。今週土曜日の予定も大きく変えざるを得ませんでした。学年を越えた交流も控えなければならない状況になっています。

全校のみなさんと先生方で、これまでどおりコロナ対策を徹底していきたいと思っています。そして、早くコロナが収束することを願いたいと思います。

さて、この時期になると、私は毎年思い出す合唱曲があります。それは、今から7年前のNコンの中学校課題曲「桜の季節」です。曲はEXILEのATSUSHIさんがつくっています。その歌詞の中に、こんなフレーズがあります。

「今さら希望と不安が溢れ出す 前を見て進もうと心には 決めてるけど…」

これは、まさに今の三年生のみなさんの心境ではないかと察します。仲間と互いに励まし合って、前を向いて進んでいってほしいと思います。

そして、こんなフレーズが続きます。

「かけがえのない僕の宝物は 仲間と過ごした時間」

これは、三年生のみなさんだけでなく、残り二か月で学級が解散する一、二年生のみなさんにも言えることではないかと思っています。これまでみなさんは、学級の仲間と「こんなことができるようになった。」とか、「まだ、これできていない。だから、次はこうしよう。」とか、そんなことをたくさん繰り返してきました。

一人一人を振り返ったときも、同じだと思います。勉強や部活動、学級や生徒会の仕事など様々なことについて、自分の中にある課題を見付け、目標をつくって、その克服に取り組み、できるようになったことがあり、まだできていないことがあると思います。そして、そうした行為や行動は、私が1月の全校集会でお話した「自分が実現させたい生活を、自分が行動してつくる」ことでもあります。

ATSUSHI さんは、その時間が「かけがえのない僕の宝物」だとみなさんに伝えたいのだと思います。みなさんは、いま思春期の真っただ中です。学年が上がるにつれ、少しずつ自分という人間が見えてきているはずですが、「なんでこんなにうまくいかないんだろう。」と悩んだり、「自分もなかなかやるなあ。」と自信をもったり、日々、感情が変化しているのではないかと思います。

けれども、結果はどうであれ、仲間と目標に向かってきた時間、目標に向かって励まし合った時間、そうした仲間とかかわった時間、仲間と過ごした時間が「かけがえのない僕の宝物」だと言っているのです。

純粋な心で仲間とかかわる時間は、人生の中でそれほど長くはありません。だからこそ貴重です。今みなさんはそうした貴重な時間を過ごしているのです。

2月の初めにあって、今一度、4月から、あるいは自分の中学校入学から、これまで自分がやってきたこと、心がけてきたこと、そして、その時々々の気持ち、その気持ちの変化、それらを思い出し、自分を振り返ってほしいと思います。そして、そこに自分の成長を見いだしてほしいと思います。

自分を振り返り、自分の成長に気付く機会はたくさんあります。昨日と今日は、動機付けがむずかしい中、自学公開が行われています。土曜日には、一年生のみなさんによる「和太鼓発表会」があり、「いじめについて考える会」があります。

そして、2月16日には「空澄み学習発表会」があります。二、三年生のみなさんは、総合的な学習の時間で学んだことにのせ、自分の知識と意識の成長を発表してください。身近な地域から岐阜県、東海地方、そして被爆国である日本と少しずつ視野を広げる中で、様々な内容を、後輩に伝えてほしいと思います。2月22日には「先輩と語る会」があります。三年生のみなさんは、うまくいかなかったこともふくめ、仲間と過ごした時間について、そして、自分の成長、これからの自分について、たっぷり語ってほしいと思います。

中庭の花壇に少しずつ日が差すようになってきました。春が近いことを感じます。こうして全校のみなさんと学校生活を送れるのも、あと一か月です。